

事務所 伊那市西町5016-2 TEL(72)0077 例会日 毎週木曜日 会場くぬぎの杜 TEL(78)1121
 会長 荒木康雄 幹事 向山賢悟 会報委員長 唐木 拓 第2977回 例会2023.1.12 No.1638



2022-23 年度 RI テーマ

IMAGINE ROTARY

ソング 君が代 奉仕の理想
四つのテスト 職業・社会奉仕委員会
会長談話 荒木康雄会長

先日1月9日に各地で成人の日のお祝いの会が催されました。今年は成年年齢が18歳に引き下げられた初めての成人の日であり、例年とは違う成人式の様相を呈していたようです。



昨年、民法改正により、146年ぶりに成年年齢が20歳から18歳に引き下げられました。明治以来続いた成人の定義を変えることで若者の自立を促し社会の活性化を図ると共に、選挙権を持ち国政の重要な判断に参加してもらうことが目的です。ちなみに世界的には成年年齢を18歳とするのが主流となっています。これまでは20歳の誕生日を迎えた日に成人となっていました。2022年4月1日付けで成年年齢が18歳に変わったため、その時点で18歳と19歳の人達はその日を以って一斉に成人となりました。そのため今年の成人の日の対象者は18歳、19歳、20歳の合計341万人になったそうです。今年の成人の日の式典は「20歳の集い」という名義で、20歳を対象に行われたところが多かったようです。しかし、三重県伊賀市などは、1月に20歳、3月に19歳、5月に18歳を対象に今年3回の成人式を行うとのこと。

成人の日に行われた20歳の若者たちへの意識調査で、現在の日本の政策における課題は、第1位が少子化対策で39.4%、第2位が経済金融政策で37.0%、第3位が働き方改革と女性活躍推進で34.4%、第4位が景気・雇用対策で33.2%、第5位が教育改革と子育て支援で30.8%でした。これを聞いて新成人世代が問題意識をしっかりと持っていて頼もしく思いましたが、反面、日本の政治に期待できるかという質問には、期待

できないと、どちらかと言えば期待できないを合わせると81.6%に上りガッカリしました。理由は、不祥事の多さによる信用低下と少子化対策の不十分さとのことです。

私が20歳の成人を迎えた日を思い出すと、今から酒も煙草も公営ギャンブルも公にできるんだと思い、大人の仲間入りをしたような気がしたのを覚えています。今の18歳の新成人は20歳になるまでこれらは禁じられているので、成人になった実感がわからないかと思いますが、せめて選挙には是非行って、課題解決に自分自身が一步踏み出すところから始めてもらいたいと願ってやみません。

誕生祝

立石 誠・小河節郎

結婚記念日祝三澤清美・中川博司
都築 透・竹腰哲夫
小松猷臣**在籍祝**熊谷勝昌(31)・藤澤秀敬(28)
宮下金俊(28)竹腰哲夫(28)
平出吉範(16)・本田敏和(6)
唐澤洋祐(3)**幹事報告** 別紙をご覧ください**委員会報告** 職業奉仕月間

1月号「ロータリーの友」紹介

下枝正一副会長

横組み P3～「ロータリーの友」創刊から70周年を迎えての記事。P11～21 各種職業の私のプライド、その仕事、あなたが作っているものとはを紹介。P30～33 バックナンバーでたどる友70周年、長野オリンピックにミニ聖火台寄贈の記事。縦組み P4～8 日経新聞社コメンテーター村山氏の人間とコンピューターが共生する職業の近未来のカタチ。



P24～箕輪 RC の職業奉仕セミナーの記事。P25
長野北東 RC の学び舎に満開の桜をさかせよう。

出席報告 会員数 56 名 内出席免除者 19 名
出席者 33 名 事前メーキャップ 0 名 出席率 75.00%

ニコニコボックス

- ・荒木康雄・向山賢悟 矢島 豪会員、本日は卓話をよろしくお願ひ致します。
- ・下枝正一 新年例会が無事終わりました。
- ・矢島 豪 本日卓話をさせていただきます。
- ・在籍祝

ラッキー賞

- ・平出吉範・小松猷臣
- ・小河節郎・矢島 豪
- ・唐木 章・中川博司
- ・鈴木正比古



クラブフォーラム 職業奉仕月間

「弥生ヶ丘高校キャリア教育授業」
について

城取健太職業・社会奉仕委員長

2023 年 1 月 27 日(金)伊那弥生ヶ丘高校にて、就職希望者 40 名を対象に、社会に出る上での心構え等、中部電力㈱の熊谷吏朗会員を講師に出前講座を開催致します。



会員卓話 KOA㈱ 矢島 豪会員

演題-「KOAの社会貢献活動」

本日は卓話の機会をいただきありがとうございます。職業・社会奉仕委員会のご担当ということで、KOA株式会社が 2022 年に行った諸活動の一部をご報告いたします。



当社は、株主様、お客様・お取引先様、社員・家族、地域社会、地球を、KOAを支えていただいている「5つの主体」と呼び、その皆様とより強い信頼関係を構築することを企業のミッション・使命としています。この「KOAのミッション」、「創業の精神」および「企業経営の価値観」は、入社時をはじめ、社内のあらゆる機会教育がなされており、KOA 社員の行動原則のひとつとなっています。上場企業の所有者は法律上は株主であり、会社は株主利益を最優先に考えるべきという主張は今でこそ少なくなってきました。当社は以前から 5つのステークホルダーそれぞれと信頼関係を構築することが、結果としてそれぞれにとっての企業価値を最大化するという考え方に立ち、本業以外の活動に対しても計画的に経営資源を投入して参りました。

まず、2022 年 4 月に東京証券取引所等の市場再編にともない、プライム市場に上場いたしました。ご存知の通り、プライム市場はグローバルに成長を遂げる企業向け市場として、厳しい上場基準が課されますが、世界中の株主様、投資家の皆さまのご信頼・ご期待に沿えるよう一層努力していきます。

次に地域社会に向けた活動として、テイクアウト・マーケットを実施しました。これは、コロナ禍で困難な状況にある地元飲食店様のお力になればと、KOA の各事業所において注文したお料理を販売していただく企画です。購入額の 25%を会社が補助することで、社員の購入を促し、合計 22 回開催し、のべ 1200 名を超える社員が参加しました。12 月には、上伊那 8 市町村の産学官組織が連携して次世代育成や地域づくりを実践する「郷土愛 PJ」のコーディネートのもと、伊那弥生ヶ丘高校で行われた課外授業に講師として参加しました。この授業の一環として行われた伊那市駅前商店街のクリスマスマーケットでの多世代交流食堂に、テイクアウト・マーケットのノウハウをご提供するなどさせていただきました。社員・家族向けには経産省などが、優良な健康経営を実践している企業を顕彰する「健康経営優良法人認定」を取得しました。具体的には、KOA 健康保険組合と協力してこのような目標を立てて、社員・家族の健康増進のために活動を続けています。

地球環境に関する活動では、11 月に周辺景観を維持するための整備や生物多様性を意識した広葉樹の植林などが評価され、本社敷地のパインパークが経産省が実施する「全国みどりの工場大賞」において、「日本緑化センター会長賞」を受賞しました。これ以外にも、5月に本社建屋屋上への太陽光パネル設置や、信州 Green 電力の採用等によりカーボンニュートラルに向けた活動を計画的に推進しています。なお、お手元にはこのような当社の活動をまとめた「KOA らしさ報告書」をお配りしておりますので、お時間のあるときにお目通しいただければ幸いです。また、活動の詳細は当社のホームページに掲載しておりますので、ご興味のある方は是非ご覧ください。

私からのご報告は以上です。ご清聴ありがとうございました。

